

**岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会**  
**岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会(平成 29 年度第 1 回)**

日時：平成 29 年 7 月 10 日(月)14:30～16:40

場所：倉敷工業高等学校 司書室

参加人数：12名

赤澤、畝岡、加茂、久戸瀬、近藤、坂口、  
住友、田中、二部野、平松、吉岡

司会：久戸瀬 記録：田中

## 1 開会

## 2 協議

### 今年度ネット研活動について

全体に関することは 12 月合同司書部会で諮るようにする。

近年は 2 回実施の会議を今年度は 3 回行いたい。

### 役割分担について

- 1 高校図書館の現況と課題に関する調査研究 (吉岡・赤澤・畝岡・平松)
- 2 ネットワーク研究委員会規約の見直し (久戸瀬)
- 3 高等学校図書館間サポート体制の構築 (住友、田中、坂口、赤澤)
- 4 高等学校図書館間横断検索・相互貸借に関する研究 (二部野)  
システムプロジェクト (久戸瀬、畝岡 + 小橋康、原;8月～)
- 5 岡山県高教研学校図書館部会司書部会HPの管理・運用 (坂口)
- 6 「岡山の高校図書館プレゼンツ・でーれーBOOKS」企画・運営  
(田中、久戸瀬、平松)
- 7 司書部会 3 支部合同研修会の企画・運営 (二部野、吉岡、住友)
- 8 県立図書館や高校教育課等関係部署との情報共有、定期的な進路調整会議 (加茂)
- 9 総括、渉外、その他 (久戸瀬)

### でーれーBOOKS 2018 について (田中)

#### 【参加を強制することについて】

昨年度末に、参加者が減少傾向にあることについてアンケートを取ったところ、「強制にする」という意見が出た。一方、「ランキング付けをしたくない」というコンテスト反対意見もあるため、強制にするのはどうか。他に参加者を増やす方法は？

→司書教諭に呼びかける

…投票権があることを知らない教諭も多いのではないか。

…高教研など教員が集まるところで呼びかけてみてはどうか。

→校長宛文書を出す

…今はメーリングリスト(ML)でしか流していないため、ML参加者しか認知されていない。8月上旬には校長宛に文書が届くように手配する。

⇒ 強制にはしない

### 【コンセプト】

コンセプトに見合った本が見つからず、投稿・投票を断念しているという意見があったため、参加者を増やすために見直しが必要だと考える。

- ・高校生に読書が楽しく役立つものだと感じてもらえるような本を選び薦める
- ・小説以外の本にも広く目を向けてもらうため、対象作品は小説以外とする

「楽しくはないけど役立つ本はあるのに…」という意見があるため、「楽しい」「役立つ」の二本立てにしてはどうか。

(案1)高校生に読書を楽しみ感じられる本

(高校生に)読書が役に立つと感じられる本を選び、薦める

(案2)読書は楽しい、読書は役に立つ

→大きな方向転換はせずに、係の方で再検討する。

### 【選定対象】

「ストーリーマンガ」が何を指すのか、教員には分かりにくい。

→「マンガは含まない」にするか、マンガの条件を取った方が良い。

→物語性のあるマンガが対象外(小説が対象外だから)。その他のマンガ(コミックエッセイ)はエントリー可能。

→「物語以外とする」にすれば、絵本も入らないのではないか。

⇒ 今年(「でーれーBOOKS 2018」)は現行通り「ストーリーマンガ」とする

### 【参加資格】

「図書館関係者」という参加資格が分かりにくいのではないか。教員は自分が対象者だと認識していないのではないか。

→「図書館担当者」にしてはどうか。

→図書館利用者を入れるのか?…図書館業務を担当しない教員は対象外。

⇒ 「生徒を含めない」をカットし、「岡山県高等学校図書館関係者(教職員)」とする

## 第2回合同司書部会について(二部野、久戸瀬)

### 【会場】

昨年度(第2回)の会場が水島工業高校だったため、今回は備前地区から会場を選びたい。  
→どこか行ってみたい学校をあげてほしい。

### 【内容】

金銭面的に外部講師を呼ぶことも可能。

ネット研のそれぞれの部署で合同司書部会で諮ること、やりたい研修を8～9月くらいまでに出してほしい。

### 【その他】

教員も参加できるのか。

## システム一括採用の件について (久戸瀬)

「学校図書館システムとMARCを県で一括購入する」という職員提案が教育長賞を受賞し、県教委で検討がなされることになったが、まだ動きがない。期日が決まっていない事業なので司書側から働きかけないとなかなか進捗しないおそれがある。

→高校と県で進行するか、県立図書館も加えて考えるのか、要検討。

→今後はプロジェクトメンバー(久戸瀬、畝岡、小橋康、原)を中心に検討を進める。

## 県立図書館より (近藤)

2017年度の学校利用が2016年度より下がっている(セット貸出し以外を含む)。

→学校間でも宣伝してほしい。

→搬送サービスを知らない教員が多いのではないか。

・・・「学校セット」を他校がどう使っているのか、県の年報で見られる(HPでも見られる)。校内でも情報発信をしていく必要がある。

## <検討課題について>

### 学習指導要領改訂への対応 (吉岡)

・どのように進めていくべきか。

→担当者でアンケートとったり、他県を参考にしたりするなどして、たたき台を作る必要がある。

・最終目標は何か。

→①現在、岡山では県や県立図書館に学校図書館推進を専任する担当がなく、政策的な検討が十分にはなされていないこともあり、課題を検討して働きかけること。

② 司書や教員等の関係者と課題の共有をし、対策をたてること。

・アクティブ・ラーニング(AL)が注目されているものの、図書館が活用されていない現状。

ALにおける図書館活用について研究を進める。

#### ネット研および司書部会運営の見直しについて

ネットワーク研究委員会の担当する業務が規約をこえて多様化している。現在実施している事業のほか、司書部会の意見を集約してまとめることが必要な場合にどう対応すべきかなど、運営の見直しを検討する必要がある。

<その他>

#### 司書部会HPについて (坂口)

教員のページを作ってはどうか。

#### 県立図書館との連携のあり方について

昨年(第1回合同研修会)の県立図書館との懇談会は、意見が出しにくい雰囲気だった。もっとざっくばらんな雰囲気、尚且つ頻繁に行われることが理想。合同部会で行うのが良いのか、場所・日程含め要検討。

### 3 その他

#### 次回会議日程 (久戸瀬)

合同部会の前に(10～11月)行いたい。

#### 高校ビブリオバトル岡山県大会について (久戸瀬)

11月4日開催に向けて、県立図書館を会場におさえ、夏休み明けには文書を発送できるよう手配する。

### 4 閉会